

「…また角をおられに
来る分には拒みはしないわ。」
ある魔界のお姫様
生まれ持つ魔力は
同級の魔物を寄せ付ける。
力による支配は
彼女には一切通用しなかった…



悪魔の角を折った帰り道
人間の住む村のはずれを歩いていた
すると、手負いのゴブリンが二匹
生に執着する小さな生き物を見て
少々興味がわいた私は
助けてみることにした。
「これから帰るところだけどついてくる？」



ゴブリンはお風呂についてきた
背中にあたるペニスは
あきらかに勃起していたし
ヌルヌルを漏らしながら
こすりつけていた

さっきまで命を狙われて
追われていたのに
再び死ぬことになるというのは
想像でしかなかったのかしら

まあ、拾ったこともあり多少の
粗相は許してあげる……



「洗ってくれるんじゃないのかしら
：ふうん：
前もつて言っておくけど
顔にかけたら潰してあげる。」

ば

ふっ

マカパイ
ミッパ



「...」

ちゃ...

!!
ク

!!
!!

ク

ツ

「すごい勢だね、人生最期のお遊戯は楽しめたかしら…」

フッ

フッ

イクッ





キッ...

びい...

びい...

ヒッ...

イン

「ふう、いっぱい
射精できた感想はどうかしら
顔にはかけないように
言っただけでしょう？」
「なんならあなたの尿道から魔力を流し込んで
精液を逆流させて下半身からふっとばして
あげてもいいのよ...」



「んぶっ!？」

んぶっ!

「けほっ…んっ…
魔力で解除しようと思えば
いつでもできるけど、

あなた程度に使うまでもないわ…
あなたがチカラじゃなくて
性で私をねじふせるつもりなら、
ちよつと付き合っただけであげる」

ちよっ

んはっ



んむう…
さつき角をへし折って
血が逸っているのかもしれない…

快楽は追及する…

この性欲の塊は
うまく使えば
都合のいい口にな
るかもしれない

ドキ

ア

ドキ

ア





（私と出会ってから
すでに勃起しきっていたペニス
ゴブリンの生態にくわしくはないが
とても臭い…）

唾液といい気分がいやらしい
気持ちになつてしまう

同級の悪魔と違って
からみつくニオイ

ゴブリンは相手を無理やり
発情させて種を残そうとしているのね…

へろ…♡



うるさい。
かみちぎっても
いいのよ？

カリッ...

（ん）

ヒキッ!?



んふっ…
しよっぱくて
味すうしてくる

暴れないで
おとなしく
しゃぶられてなさい

身分を誇示するわけではないけど
あなた相当運がいいのよ

んちゅっ…

ちゅぽちゅぽ

ふー
くさいわ

キレイにしてあげる…♡

ぽくっ



喉奥までくわえて
ほしいでしょうけど
してほしければ私より
強くなつてから
蹂躪して見せなさい…

にゅぽっ
にゅぽっ
にゅぽっ





んっふあっ♡

キッ！
キッ！
キッ！

びゅ
びゅ
びゅ

ぶ
ぶ
ぶ

びゅん

びゅん

まだまだ
元気そうね

あなたの期待通りよ

まあた勃起させて
本当スゲベなのね





この紋が気になるの？
残念だけど
あなたは遊び相手、

エッチをしても
あなたの子供は残せないわ…

まあ
この紋章を破る勢いで
魔力に挑戦してみてもいいわよ

ぽん、

ハッ

ハッ



あうっ…
滑るように
挿入されたペニス

小柄なカラダに似合わず
大きくて
膣内で膨らんでいる
「好きに動いてみなさい」

にゅるん!

ブルブルッ

ゴクゴク



あれこれ考えず
ゴブリンのピストンに呼応し
セックスに興じた...

イッ

ぐわ

ぽちゅ
ぽちゅ

ぐわ
ぐわ

ぽちゅ

ぽちゅ

トち
トち

ぐわ
ぐわ

ぐわ



ふわあぁ……
もつと……
もつとやつてくらんなさい♡

あー

うん



んはっ♡

強烈な膣内射精と
イッたあとの追撃に

淫紋がはがれそうになってしまった
この性欲の塊とのかけひき...

大事にしないと♡

膣内でかきまわされた精液に
しばらく悶えていたら
ゴブリンはやばやと
風呂をあとにしていた...

おっ...

ズボッ!

…どうしたの、
イカせてちょうだい
じらそうっていうのね…
頭はよくないけど、
知恵はあるのね



ちよつと...
まだ足りてなかったの？
まあいいわ
寝る前にわ
もう少し遊んであげよう
思っていたところだから
許してあげる♡



おっぱい

ずっ

とろ...

おっぱい





ドン
お
に

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ズ
ッ

ゴブリンの性欲は一晚では終わらず
結果的に犯されていた

も、もしかしたら受精しているかも

いいいい加減にしなさい
○すわよ

ああーつらめっ…

やめなさい

ギギッ!

マッ!
マッ!

は
ちゃん!

は
ちゃん!
が
る
ん
♡

が
る
ん

ギッ

ギッ

んっ

結局絶え間なく犯し続けられ
ザーメンの受け皿にされてしまった
紋は切れていなかったから
大丈夫だと思うけど・・・
どうなることか

はあっ

すっぴん

ざっ
まる!

オレ!
カチ!

ど

く
い..



まさかあの一晚で
身ごもつてしまうとは
しかもこの感覚は何匹か
入っている...

おなかには重かつたけど
ゴブリンの命令で
こんな格好に...

くっ...

ムッ

ガッ

ムッ

ムッ



完全になめられてしまっている
粉碎してやりたいところだけど、
紋をかいくぐって私を孕ませた事実は
くつがえせなかつた

ヒ
イラ
いあ...

イル

ずぶ...

きゅ



「この状態でそういうことはやめーっ

ううつ♡イクツ♡」

このゴブリンに言葉は通じない
伝える前にはイカされてしまう

完全に孕み袋扱いだ



まさか
この状況でも
セックスしよう
というの……
あんなの赤ちゃんに
悪いわ……





アッ
ぐっ
ふっ!

アッ
ぐっ
ふっ!

ぐっ

ふっ!



くっ、苦しい...
苦しいのに
気持ちがいい
きてっ
膣内でおもっきりぶっかけて♡

らめええ♡

イクイク

びゅ

ふっぽ

ズンナッ!!

これから赤ちゃんが
生まれようとしている

私に種を付けたゴブリンは
すっかり調子に乗っている
産気のまえに
少し余裕がなかった...

ボ

テ♡

ううつ
赤ちゃん出てくるーっ



4



ハウ
メツ
カキ
タセ!

ふん
ぎん

フ
フ

フ
フ

フ
フ

ボ

コン!!

休ませ...

ハーン...

ハーン...

マダマダ
ダダセ!
スグダセ

ぐちょ...



産まれたばかりの
ゴブリンの子供は
すぐに動き出した

すでに性欲が
身についているのか
いやらしい手つきだった...

ヒギィ

ギィ

ギィ...

×
リ

×
リ
×
リ

ハハハハ
オオオオ
エエエエ



無事産み落とし
雑魚ゴブリンの母となった

立場、身分のことよりも
産み終わった解放感から
幸福感すら残っていた...



あれから私は
このゴブリンに飼いならされて
しまっている

王位や面倒な持ち物を捨てて
快楽に明け暮れた

「こいつならいつでもつぶせるもの……」
「そ、そろそろその無様におつたたせてる
オチンポ、どうにかなさい……♡」



「んふっ…♡キタあ♡」



容赦ない無遠慮膣内射精
今まで味わえなかつた
快感♡「雑魚ゴブリン最高♡」





イ
ビッ

くぱいっ

ゴブリンの軽いSM趣味は
拘束し、
寝ておける
拘束したい
カ
ラ
ダ
を
い
じ
く
り
ま
わ
す

ト

ン





「イタズラがすぎるわ
あとで覚えてなさい♡」